

# Business Report

## 第99期中間株主通信

2022年4月1日から2022年9月30日まで

 大同特殊鋼株式会社

証券コード 5471

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申しあげます。

ここに、第99期中間期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)における事業概況についてご報告申しあげます。

2022年12月

代表取締役社長 **石黒武**



### 決算概況

### 自由鍛造品の増加、販売価格是正により増収増益

2022年度第2四半期の連結営業利益は、232億25百万円となり、前年同期比で40億68百万円の増益となりました。特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、半導体や部品の供給不足に加え、中国におけるロックダウンの影響などにより低位となり、産業機械向け受注も弱含みで推移しましたが、半導体関連製品は5Gの普及やデータセンターの建設・更新需要により堅調に推移しました。また、自由鍛造品につきましても重電、船舶用バルブ、掘削関連需要が円安環境を含めて大きく伸長しており、利益面で大きく貢献しました。一方、主要原材料である鉄スラップおよびニッケルなどの各種合金類の価格が上昇し、原油・LNG市況高騰により電力などエネルギーコストも増大しましたが、販売価格への反映を鋭意進めました。この結果、第2四半期連結営業利益は過去最高益となりました。

### 経営環境および今後の取り組み

### 各種コストの上昇に対し、コスト削減努力、販売価格是正を推進

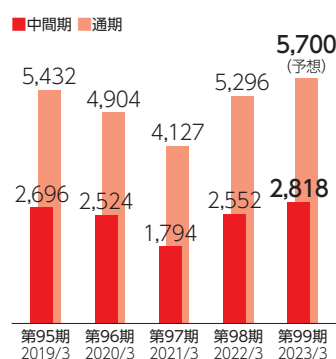
2022年度の経営環境は、金融引締め等による海外景気の下振れ懸念やウクライナ情勢をはじめとした地政学リスクの高まりなど不透明な状況が継続すると見込まれます。受注面につきましては、主要需要家である自動車関連で半導体や部品の供給不足により調整局面が継続すると思われます。また、コスト面につきましては、円安進展にともなう各種調達コストの上昇やLNG市況の逼迫にともなうエネルギーコストのさらなる上昇も想定されます。

そのような環境の中で、当社におきましては、需要動向について慎重に見ていくとともに、徹底したコスト削減努力を継続し、生産活動を継続的に維持するための販売価格の是正を推進してまいります。また、円安環境を活かし海外需要を捕捉していくことでポートフォリオの改善にも努めてまいります。

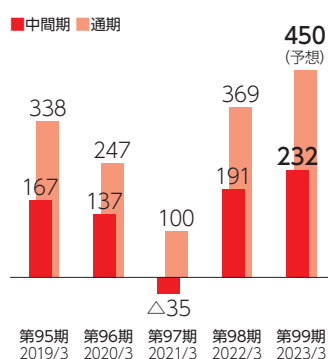
### 当中間期の配当

当中間期の配当は、中間決算および通期業績見通しを勘案し、1株あたり100円とさせていただきます。なお、期末配当を含めた年間配当は1株あたり200円を予定しております。

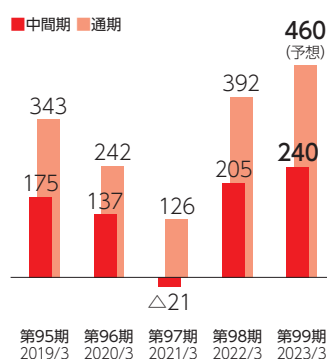
#### 売上高 (億円)



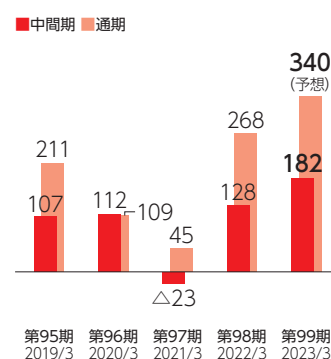
#### 営業利益 (億円)



#### 経常利益 (億円)



#### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)



## 事業別の概況

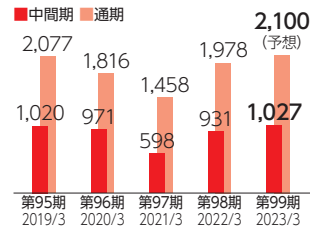
### 特殊鋼鋼材



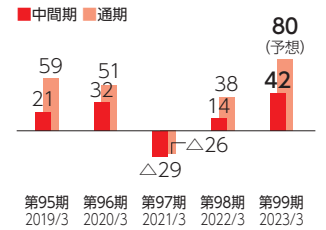
構造用鋼、軸受鋼、金型用の工具鋼など、主に自動車、産業機械分野で使用される屈強な素材の製造・販売をはじめ、原料、資材の調達、物流管理、流通に至るまで幅広い事業を展開しています。

売上高構成比  
36.4%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



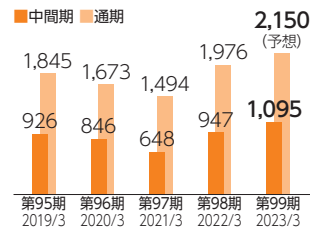
### 機能材料・磁性材料



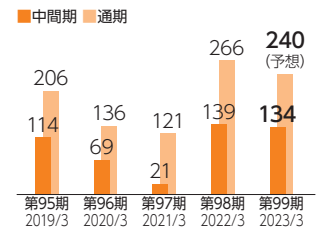
ステンレス鋼、高合金、合金粉末、チタン、磁石製品、ターゲット材、ネジ・ボルトなど優れた機能を発揮する材料の開発、製造、販売を手がけています。

売上高構成比  
38.9%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



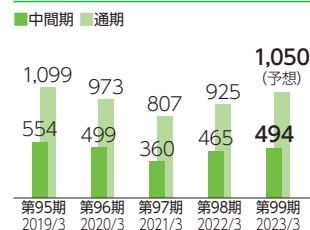
### 自動車部品・産業機械部品



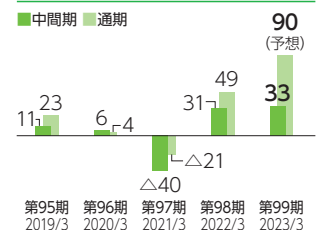
自動車部品・ベアリング向けの型鍛造品、エンジンバルブやターボ関連製品を主力とする精密鍛造品、発電機、大型輸送機、プラント向けの自由鍛造品、鍛鋼品を製造・販売しています。

売上高構成比  
17.5%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



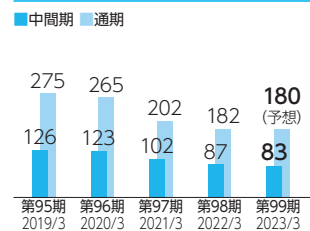
### エンジニアリング



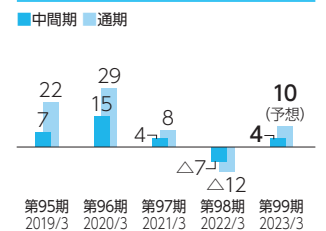
特殊鋼製造で培ったノウハウと技術を活かし、鉄鋼設備、工業炉、環境設備、各種機械の設計から施工、メンテナンスまで行っています。

売上高構成比  
3.0%

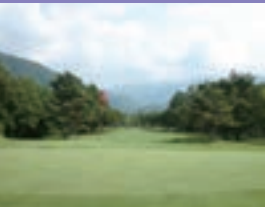
#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



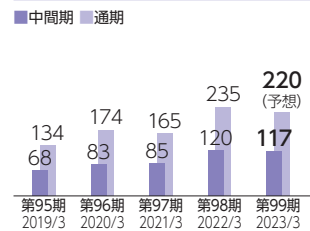
### 流通・サービス



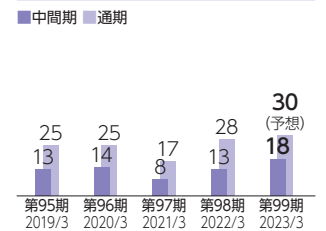
不動産事業、福利厚生、保険の取扱い、ゴルフ場経営、鉄鋼・セラミックス等の分析、情報システムの販売など多岐にわたる事業を展開しています。

売上高構成比  
4.2%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



## トピックス

### アセアンの高機能材料供給網を強化 タイ二次加工拠点が開所式を開催

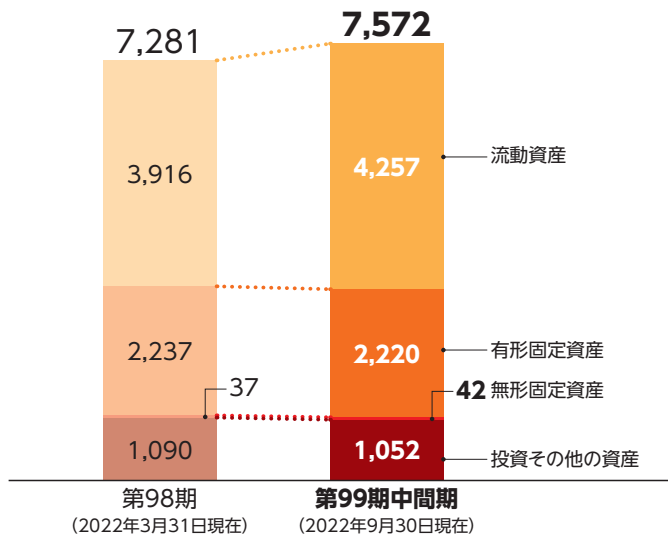
当社の連結子会社である Daido Shimomura Steel Manufacturing (Thailand) Co., Ltd. (以下 DSST) は、7月18日にタイで開所式を開催しました。DSSTは当社の連結子会社である下村特殊精工株式会社と大同興業株式会社の両社でタイに設立したみがき棒鋼の生産拠点で、2022年1月から営業生産を開始、4月より量産体制を確立してきました。DSSTはステンレス鋼、軸受鋼などのみがき棒鋼製品を、日本国内と同じ品質保証体制によって製造するとともに、併設の倉庫事業でアセアン地域における当社グループの物流機能を強化し、東南アジアを主体とした成長市場に高機能材料を提供していきます。



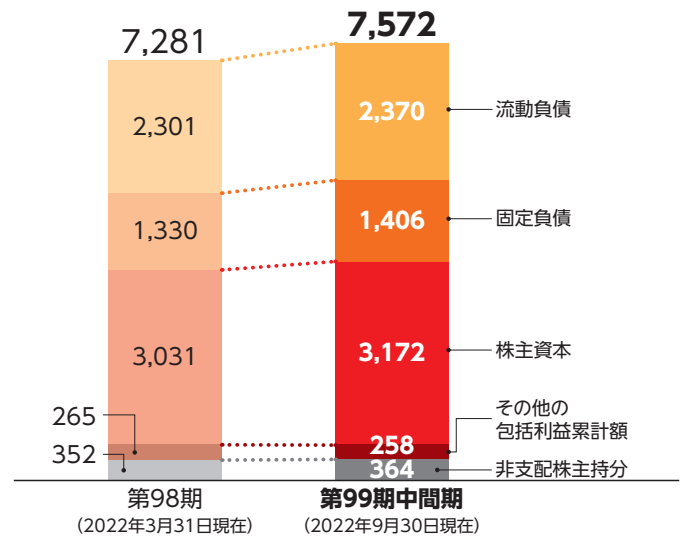
開所式の様子

財務の状況

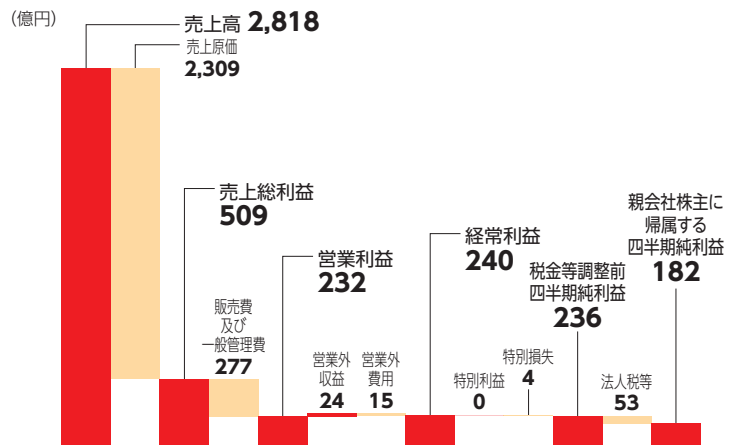
資産の部 (億円)



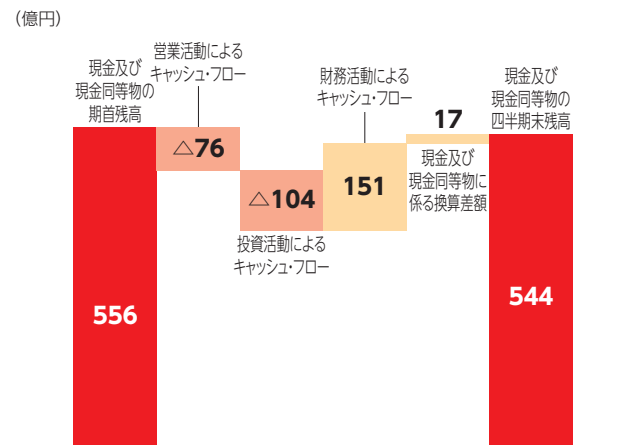
負債・純資産の部 (億円)



損益の状況 2022年4月1日～2022年9月30日



キャッシュ・フローの状況 2022年4月1日～2022年9月30日



※金額は、億円未満を切り捨てて表示しています。

「統合レポート2022」を発行

ESGを踏まえた長期視点から経営方針や取り組みを報告するツールとして、当社は2006年から環境報告書に代えてCSR報告書を、2020年にはサステナビリティレポートを発行してきました。2021年からは、中長期的な企業価値向上を実現するために、価値創造プロセスや戦略、マテリアリティの進捗などを加え、当社の取り組みを総合的に伝える「統合レポート」を発行し、2022年は、さらなる充実を図りました。

主に長期視点での「戦略」および「サステナビリティ」に関する情報をまとめています。本レポートの報告対象期間は2021年4月1日から2022年3月31日までで、当社Webサイトからダウンロード可能です。



統合レポート2022

## 会社概要

社名	大同特殊鋼株式会社
英文社名	Daido Steel Co., Ltd.
本社所在地	〒461-8581 名古屋市東区東桜一丁目1番10号 アーバンネット名古屋ビル
創業	1916年8月19日
設立	1950年2月1日
資本金	371億7,246万4,289円
従業員数	12,668名(連結) 3,342名(単独)

## 取締役

代表取締役会長	嶋 尾 正
代表取締役社長	石 黒 武
代表取締役副社長	西 村 司
代表取締役副社長	清 水 哲 也
代表取締役副社長	利 光 一 浩
取締役	山 下 敏 明 仁
取締役	梶 田 聡 次 一
取締役(社外/独立役員)	相 馬 秀 子
取締役(社外/独立役員)	山 本 良 一
取締役(社外/独立役員)	神 保 睦 子
取締役常勤監査等委員	志 村 進 清
取締役常勤監査等委員(社外/独立役員)	水 谷 清 治
取締役監査等委員(社外/独立役員)	松 尾 憲 治

## 株式の状況

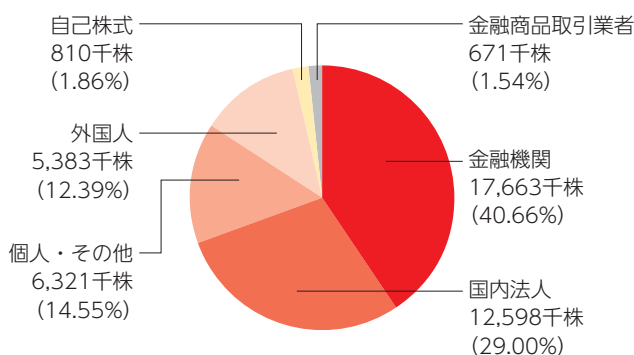
発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	43,448,769株 (自己株式 810,149株を含む。)
株主数	20,004名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,281	10.04
日本製鉄株式会社	3,100	7.27
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,440	5.72
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.86
株式会社みずほ銀行	1,577	3.69
日本発條株式会社	1,449	3.39
本田技研工業株式会社	1,305	3.06
株式会社三菱UFJ銀行	1,214	2.84
トヨタ自動車株式会社	869	2.03
日鉄興和不動産株式会社	749	1.75

※自己株式は除いております。

## 所有者別株式分布状況



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL <a href="https://www.daido.co.jp/koukoku.html">https://www.daido.co.jp/koukoku.html</a>
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

## 未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



## Webサイトのご案内

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。

<https://www.daido.co.jp/>